



「たてわり なかよしの会」～縦割り活動の意味～

先日、今年度の本校の教育方針を示した「UCHI ナビ」を配布させていただきました。今年の最重点課題は「自己有用感に裏付けられた自尊感情の醸成」です。昨年の県学習状況調査の質問紙で「自分にはよいところがある」の項目で、4・5・6年の全学年が県平均より下回るという結果だったため、子どもたちにもっと自分に自信をもってほしいという願いから、これを最重点課題としました。ここで、注意したいのは、ただ単に自尊感情（自分に自信をもつ気持ち）を高めるだけではなく、自己有用感に裏付けられた自尊感情を高めるということです。つまり、他の人、クラスや学校の友だちから認められるということを中心にしたいということです。「4つの心柱」の目標を達成するために様々な取組を行っていきますが、それらの取組が自己有用感の高まりにつながるようにしていきたいと考えています。例えば、「思いやりの心、豊かな人間性の育成」については、縦割り班活動（すこやかグループ活動）を通して集団の一員としての自覚をもたせ、自他のよさを活かす認め合う活動の充実を図ることとしています。そのために「めあてカード」を導入して縦割り班担当と学担が連携していくことや、学級や行事の中で「認め合いの場」を積極的に設定することとしています。



自己紹介カードをもらう1年生



風船ゲームで盛り上がりました

今回行われた「すこやか なかよしの会」は、縦割り班の顔合わせの会です。新しく仲間入りした1年生に縦割り班内で名刺を渡し自己紹介し合ったり、ゲームをしたりしながら楽しく交流を深めました。今回は、「全校たよれる内小っ子委員会」が担当して企画・運営をしてきましたが、高学年としての自覚を高めるよい機会にもなりました。

また、会の終わりに、パワフル記録会で争う赤組と白組を決める抽選会も行いました。今年は、縦割り班とともに、この赤組、白組も活用しながら様々な行事を盛り上げていくこととしています。

「ぼけっとさんよろしくの会」

今年もぼけっとさんに読み聞かせを行っていただきます。読み聞かせは、子どもたちが楽しみにしている会でもあり、何よりも子どもたちの心に栄養を与える大切な時間です。ワクワクブック委員会が主催の「ぼけっとさん よろしくの会」でしたが、よろしくお願ひしますという気持ちのこもった会となりました。大和田〇〇さん、鈴木〇〇さん、邑山〇〇さん、町田〇〇さん、佐々木〇〇さん、佐々木〇〇〇さん、佐藤〇〇さんには大変ご難儀おかけしますが、よろしくお願ひいたします。ぼけっとさんの人数が年々減っているとのことでしたが、いつでも受付しているそうですので興味のある方は、是非お声かけください。



ぼけっとさんの自己紹介

【内小友小HP】 これまでパソコンからしか観られなかった動画が、スマホからも観られるようになりました。学校での子どもたちの様子が動画でいつでも観られます。もうすぐ40,000アクセス突破！